平成24年度 日本留学試験(第1回)

正解表

平成24年度日本留学試験(第1回)試験問題 正解表

〈日本語〉

記 述 問題解答例を343ページに掲載

読解			
F	問		正解
Ī	Ī		3
I		2	4
Ш		3	3
N		4	4
V		5	1
M		6	2
VI	11	7	4
VIII		8	3
K		9	2
X		10	2
ΧI	問 1	11	2
VI	問 2	12	3
ΧII	問 1	13	4
ХШ	問 2	14	2
VIII	問 1	15	3
XII	問 2	16	2
V18.7	問 1	17	4
YIV	XIV 問 2		1
xv	問 1	19	2
L V	問 2	20	3
ХИ	問 1	21	4
T VI	問 2	22	1
	問 1	23	2
IVX	問 2	24	3
	問 3	25	1

聴読解			聴解		
問	解答欄	正解			正解
1番	1	1	13番	13	4
2番	2	4	14番	14	4
3番	3	2	15番	15	1
4番	4	2	16番	16	3
5番	5	1	17番	17	4
6番	6	1	18番	18	4
7番	7	3	19番	19	3
8番	8	2	20番	20	1
9番	9	4	21番	21	3
10番	. 10	1	22番	22	3
11番	11	2	23番	23	3
12番	12	1	24番	24	2
			25番	25	2
			26番	26	4
			27番	27	3

〈理 科〉

物理			
問 解答欄 正解			正解
	問 1	1	1
	問 2	2	4
	問 3	3	1
I	問 4	4	5
	問 5	5	3
	問 6	6	2
	問 7	7	4
	問 1	8	4
I	問 2	9	4
	問 3	10	2
	問 1	11	4
Ш	問 2	12	2
	問 3	13	5
	問 1	14	5
	問 2	15	6
IV	問 3	16	1
	問 4	17	2
	問 5	18	3
	問 6	19	2

化学		
問	解答欄	正解
問 1	1	2
問 2	2	1
問 3	3	3
問 4	4	5
問 5	5	1
問 6	6	5
問 7	7	2
問 8	8	3
問 9	9	5
問10	10	1
問11	11	3
問12	12	3
問13	13	4
問14	14	4
問15	15	6
問16	16	3
問17	17	5
問18	18	2
問19	19	4
問20	20	6

生物		
問	解答欄	正解
問 1	1	2
問 2	2	4
問 3	3	1
問 4	4	3
問 5	5	1
P 3	6	4
問 6	7	6
問 7	8	3
問8	9	4
問 9	10	9
問10	11	2
問11	12	7
問12	13	2
PJ 12	14	3
問13	15	2
Ib) 13	16	3
問14	17	1
問15	18	5

〈総合科目〉

問	解答欄	正解
	1	2
問 1	2	1
 - 	3	1
	4	2
	5	3
問 2	6	1
L1] ∠	7	4
	8	4
問 3	9	3
(ш) 3	10	2
問 4	11	3
問 5	12	1
問 6	13	2
問7	. 14	3
問8	15	3
問 9	16	2
問10	17	1
問11	18	1
問12	19	3
問13	20	4

問	解答欄	正解
BB 4 4	21	2
問14	22	4
問15	23	4
問16	24	1
問17	25	3
問18	26	2
問19	27	4
[P] [3	28	1
問20	29	2
問21	30	1
問22	31	4
問23	32	3
問24	33	4
問25	34	2
問26	35	4
問27	36	4
問28	37	2
問29	38	3

〈数 学〉

	コース 1			
F	問	解答欄	正解	
		ABCD	-273	
		EF	46	
	問1	G	4	
		HI	43	
		J.	1	
I	4 *	K	0	
		LM	-7	
	問2	NOP	422	
	Int	, , Q	5	
		R	2	
		ST	11	
		ABC	881	
	e are	D	5	
		Е	4	
	問1	FG	4	
		Н	32	
I		J	1	
		KL	16	
	te e	MN	29	
	問2	0	3	
	同2	PQ	16	
		RST	336	
	 	Α	2	
		В	2	
		С	4	
Ш		D	1	
111		Ε	2	
		FGH	124	
		ı	0	
:		J.	1	
		ABCD	1032	
		EF	-2	
IV		G	1	
	er i e	Н	2	
		IJ	-1	

コース 2				
問 解答欄 正解				
		ABCD	-273	
		EF	46	
	問1	G	4	
		HI	43	
	1 150	J	1	
I	ostari.	K	0	
		LM	-7	
	問2	NOP	422	
	ردا ا	Q	5	
		R	2	
		ST	11	
		AB	22	
Π	が見解される マールを構造する を表する。	C	5	
щ		DE	50	
	1	FGHI	8174	
	English (1) Singapan Tangapan	AB	30	
		С	3	
		DE	22	
Ш		F	4	
		GH	34	
		IJ	23	
		K	1	
	- 1月 かた - 1 - 1 日本課題による - 1 日本課題 - 1 日日はより	ABC	224	
	16 TH 16 TH	DE	28	
	問1	F	4	
	at a	G	8	
N		HIJK	4648	
14		LM	24	
		NOPQR	28412	
	問2	STU	411	
	·	VWX	121	
		Υ	4	

「記述」問題解答例

(1)

近年、日本では、伝統文化や習慣が変化しているようだ。たとえば、以前は、お正月には、おせち料理を作って、家族全員が家に集まってお祝いするのが普通だったという。しかし、今は、おせち料理は売っているものを買う人が多いし、家族がバラバラに過ごすことも多いようだ。伝統行事は、「当然、するべきもの」から「してもしなくてもよいもの」へと変化してきたと言える。

その背景には、家族の形が変わったことが考えられる。核家族化が進み、祖父母と一緒に住まなくなったために、昔からの伝統をお年寄りが次の世代に伝える機会が減った。さらに、現代は、生活の速度が速くなり、仕事においても厳しい競争があるため、若い世代の人に習慣や伝統行事を続けていく余裕がなくなっているのだろうと思う。

時代とともに、昔からの習慣や伝統行事が変わっていくのは、仕方がないことだ。しかし、世代と世代の間のつながりが弱くなり、これまで年月を経て続いてきたことが消えることは、文化的な損失であると思う。(422文字)

2

最近、中国でも、大学を卒業した後で就職できない若者が増えている。皆、家族の期待と支援を受けて、一生懸命勉強して大学に進学した。卒業すれば、就職できると思っていた。しかし、大学を出たからといってよい仕事につけるとは限らないのが現状である。

これは若者にとって、予想外のことで、精神的に傷つく人も多い。冷静に考えれば、 以前に比べ大卒者が増加したため、大卒者に見合う仕事の数が足りないこと、競争の激 しい現在、企業は経験のない人よりも経験者がほしいことなど、その原因が見えてくる。 傷ついたと嘆いていても、将来は変わらないと私は思う。個人でもできることがある。 例えば、外国語を学習して国外の企業も視野にいれて就職活動をしたり、自分の行きた い企業を目標に、在学中にインターンやアルバイトで計画的に経験を積んでおいてはど うだろう。また、政府も若者の就職がうまくいくように、新卒者を採用した企業にメ

大卒者が増えるなど社会の構造が変わる時には、従来の考え方は通用しなくなる。社会の動きに合わせて、私たちは考え方を変えていく必要がある。(476文字)

リットを与えるなどの支援をするべきだ。

「記述」採点基準

「記述」の採点にあたっては、以下の基準に基づき採点し、得点を表示します。

得点	基準
50点	(レベルS) 課題に沿って、書き手の主張が、説得力のある根拠とともに明確に述べられている。かつ、効果的な構成と洗練された表現が認められる。
45点	(レベルA)
40点	課題に沿って、書き手の主張が、妥当な根拠とともに明確に述べられている。 かつ、効果的な構成と適切な表現が認められる。
35点	(レベルB)
30点	課題にほぼ沿って、書き手の主張が、おおむね妥当な根拠とともに述べられている。かつ、妥当な構成を持ち、表現に情報伝達上の支障が認められない。
25点	(レベルC)
20点	課題を無視せず、書き手の主張が、根拠とともに述べられている。しかし、 その根拠の妥当性、構成、表現などに不適切な点が認められる。
10点	(レベルD) 書き手の主張や構成が認められない。あるいは、主張や構成が認められても、 課題との関連性が薄い。また、表現にかなり不適切な点が認められる。
ببر 0	(NA)* 採点がなされるための条件を満たさない。

レベルA, B, Cについては、同一水準内で上位の者と下位の者を区別して得点を表示する。

- *0点(NA)に該当する答案は以下のとおりである。
 - 白紙のもの。
 - 全文が日本語以外の言語で書かれているもの。
 - 全文が課題文の引き写しで終わっているもの。
 - 与えられた両方の課題(①と②)について書かれているもの。
 - 与えられた両方の課題(①と②)の、どちらについて書かれているか判断できないもの。
 - 与えられた課題とまったく無関係なことが書かれているもの(問題冊子の表紙等,課題と 関係のない文章を引き写している,あるいは自己紹介で終わっている等)。
 - その他、委員会の議を経て、0点とするに至当な理由があると判断されたもの。